



# 日の出町長期総合計画（素案）

（基本構想・後期基本計画）

*Now and future*

基本構想 2020 ➡ 2025

後期基本計画 2023 ➡ 2025

【教育委員会所管施策抜粋版】

令和5年1月

日の出町

## 施策の柱4 豊かで創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり

### 4-1 学校教育の充実【施策17】(その1)

#### 目標とする姿

子どもたちの学びや成長に関わるすべての人が、教育の担い手として、共に学び、共に支え合い、みんなで日の出町の学校を育てています。

#### 現状と課題、将来起こりうる課題

近年、学校教育を取り巻く環境が、大きく変わってきています。様々な理由から学校に登校できない子どもたちの学びや成長の機会を確保する取組、コロナ禍での一斉休校や新たな学校での学習や生活、一人一台のタブレット端末の配備をはじめとする学校のICT環境の整備など、誰もが、いつでも、どこからでも、誰とでも、自分らしく学べるようになってきています。また、民間が運営するフリースクールやインターネットを活用した学びの機会等と公立の学校での学びの機会が混在し、「学校は何のためにあるのか。」「学校でなければ、子どもたちが学べないことは何なのか。」をもう一度、考える時が来ています。

学校は、一人ひとりの多様なしあわせであるとともに社会全体の幸せである「Well-being (ウェルビーイング)」を実現する基盤を育むところです。言い換えれば、学校は、子どもたちが、自分の今、将来のしあわせ、他者や社会のしあわせをもつくる人となるための準備をするところです。そのために、予測することが難しいと言われるこれからの時代は、教職員、児童・生徒だけで学校をつくるのではなく、子どもたちの学びや成長に関わるすべての人々と一緒につくるものです。

町では、多くの保護者・地域の方々<sup>が</sup>子どもたちの学びや成長を支え、学校の教育活動に関わっています。学校のこれからの考えることは、併せて地域社会の未来を考えることにもつながります。町は、人と人とのつながりや支え合う一体感のある地域コミュニティがあり、加えて、豊かな自然・文化等、たくさんのまちの魅力があり、その魅力が学校を育て、学校づくりがまちの魅力づくりにつながっていくと考えます。

#### 施策展開

「新たな時代に向けたより質の高い学校づくり」

一人ひとりの多様な幸せ、社会全体の幸せでもあるウェルビーイングが実現されるよう、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、子どもたちが持続可能な社会の創り手としての基盤を育む学校づくりを推進します。

- ①新しい時代に必要となる資質・能力を育む教育の推進
- ②誰一人取り残さない教育相談・支援教育・チーム学校の取組の充実

- ③多様な教育活動を通じた豊かな成長の機会を創る学校と地域の連携・協働の推進  
 ④学校の働き方改革の推進による教育の質の向上・維持

## 主要事業

- 日の出町立学校教育研究の推進
- 日の出町立小中学校支援主事の派遣
- 就学支援、支援教育の体制の強化
- 学習支援員等の活用
- 校務支援システム等の活用
- ICTを活用した学びの充実
- 教育相談、適応支援の充実
- 町独自調査を活用した学校支援
- 地域学校協働活動の推進
- 学校経営マネジメント強化学業の活用

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
全国学力調査の平均正答率※1	小 56.0 点 中 40.3 点	小 62.7 点 中 58.3 点
全国学力調査の肯定率※2	小 66.4% 中 78.0%	小 80.0% 中 80.0%
全国体力・運動能力調査（体力合計点）	小 43.6 点 中 42.8 点	46.0 点 43.0 点
問題行動等調査の※3いじめの解消率	13.9%（小中計）	24.2%（小中計）
問題行動等調査の※3不登校の出現率	小 1.68% 中 6.52%	小 1.27% 中 5.96%
支援対象児童・生徒への支援率※4	41.1%（小中計）	42.0%（小中計）
全国学力調査※5の肯定率	100.0%（小中計）	100.0%（小中計）
時間外勤務 45 時間以下の教員の割合※6	54.5%（小中計）	80.0%（小中計）

※1 全国学力・学習状況調査(教科に関する調査)2教科平均正答率合計の平均

※2 全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙調査)の肯定率（自己肯定感に関わる質問）

※3 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

(いじめの解消の定義:完全解決には3か月間の見守り期間が必要なため、年度をまたいだ見守り期間の場合は、未解決となる。)

※4 町独自のまとめ:支援対象の児童・生徒のうち固定の支援学級、通級による支援教室につながっている児童・生徒の割合

※5 全国学力・学習状況調査(学校質問紙調査)の肯定率（地域人材等活用に関する質問）

※6 校務支援システムの出退勤記録集計の時間外勤務 45 時間以下(年平均)の教員の割合

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育推進計画

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに



## 4-1 学校教育の充実【施策17】（その2）

### 目標とする姿

子どもたちが安全で良好な教育環境の中で、安心して学校で生活し、豊かに学び健やかに成長しています。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

教育環境としての学校施設や学校給食は基本的な教育条件の一つであり、教育水準の維持向上の観点からその安全性や快適性を確保し、子どもたちの発達段階に応じた安全・安心で質の高い施設整備を行う必要があります。社会情勢の変化や地域の実情を踏まえ、教育内容・方法の変化に対応し、多様化する学習活動に適応していくことが重要です。

町立学校の整備・充実については、益々、施設や設備の老朽化が進み、雨漏りや配管の破損など様々な支障が生じているほか、近年の猛暑に対応するために空調設備の整備も求められ、まずは、子どもたちの安全・安心を確かなものにするために、緊急度に応じ、費用対効果も踏まえて改修を進めていく必要があります。

また、学校給食は、栄養バランスの取れた食事を子どもたちに提供することで、健康の保持増進を図ることに加え、食に関する指導を効果的に進めるための教材として活用することができる大きな教育的意義を持っています。成長期にある子どもたちへの安全・安心な給食の提供、栄養や健康に関する食育の充実のための新学校給食センター建設（令和8年度中共同運営開始予定）・運営、食材の物価高騰の現状を踏まえた保護者への負担が増えないようにする対応など、多面的な視点で学校給食の充実に努めていく必要があります。

### 施策展開

子どもたちの学習・生活の場であるほか、多様な機能や役割を有する学校の施設や環境の安全性を確保するとともに、成長期の児童・生徒の健康の保持増進及び食育の生きた教材となる学校給食の充実を図ります。

- ①子どもたちの安全・安心対策の充実
- ②学校施設・設備の整備
- ③食育の推進による健康の保持増進
- ④新学校給食センター構想の実現等による学校給食の安全・安心の確保

## 主要事業

- 交通案内指導員の配置
- 空調設備の設置・更新
- 栄養士による食育授業の実施
- 特徴のある学校給食献立の実施
- アレルギー対応食の実施
- 児童下校補助車両運行事業の実施
- 学校施設長寿命化計画に基づく校舎改修工事の実施
- 料理教室の実施
- 新学校給食センターの建設・運営の準備

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
登下校時の交通事故発生件数	0件（小中計）	0件（小中計）
特別教室の空調整備率	72.4%	92.0%
全給食回数の内、地場産野菜の使用頻度	50%/年	50%/年
食育指導	全校・全学年実施	全校・全学年実施
あきる野市・日の出町新学校給食センター建設着手	0%	100%

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策
- 日の出町教育推進計画
- 日の出町学校施設長寿命化計画

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに



## 4-2 生涯学習社会の形成【施策18】

### 目標とする姿

誰もが、いつでも、どこでも学びたいときに学べる環境になっています。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

町民の学習ニーズは高度化し、学習課題も多様化してきていることから、生涯学習内容の充実がさらに求められています。文化芸術は、まちの個性や特色を生み出す力を持つことから、地域で誇れる文化・芸術風土の熟成に努めていく必要があります。このようなことから、多様に進められている生涯学習・文化芸術活動を、新しい時代に則した内容に再構築し、各分野を横断する総合的な生涯学習・文化芸術活動の確立を図る必要があります。

身近な図書館として、町民のニーズに応えられる図書や資料等を提供し、本図書館ならではのサービスや新規事業などの充実を努め、利用者の増加を図る必要があります。ICタグと自動貸出機の導入により、利便性の向上や盗難防止に取り組んでいます。

また、令和2年(2020年)から続く新型コロナウイルス感染症により、所管事業の実施が中止となり、未だ収束を迎えない今日、ウィズコロナの中で非対面・非接触を踏まえた事業実施が求められています。

町民アンケートの結果から、重要度は約40%、どちらともいえないを含めると約75%であるのに対し、満足度は8.6%、普通を含めると約78%であることから、満足度を向上させる必要があります。

### 施策展開

#### 〈生涯学習〉

学びたい意欲を大切に、学びやすい環境整備とメニュー作りに努めます。

- ①生涯学習推進体制の充実
- ②社会教育施設を拠点とした文化活動の充実
- ③文化芸術活動の推進

#### 〈図書館活動〉

利用しやすく親しまれる、利用者目線の図書館環境を整備します。

- ①「第二日の出町子ども読書活動推進計画」の推進
- ②障がい者サービスの推進
- ③読書活動の推進
- ④図書館の貸し出し体制の拡充
- ⑤図書館資料管理システムの充実
- ⑥生涯学習におけるデジタル及びDXの推進

## 主要事業

- 幅広い生涯学習講座
- 「ひので町民大学」講師登録制度
- 「町民文化祭（やまびこホール）」
- 「第二次日の出町子ども読書活動推進計画」の推進
- 図書館 夏・冬のおはなし会
- 学校・保育園訪問おはなし会
- 図書館職場体験事業
- デジタル技術の活用による生涯学習機会の拡充
- 民間企業や大学等との連携推進

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
生涯学習講座受講者数	95人	420人
「生涯学習環境」町民満足度	8.6%	15.0%
図書館利用者数	14,240人	14,700人
児童・生徒の読書の不読率	19.3%	15.0%

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 計画見直し時の住民参画
- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育推進計画
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに  
11. 住み続けられるまちづくりを





## 4-3 スポーツの振興【施策19】

### 目標とする姿

スポーツを楽しむ(観る(観て)、体験する(やる)、生きがいを感じる)人が増えています。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

スポーツは人々の「こころ」や「からだ」の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるとともに、健康で豊かなライフスタイルを構築し、夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。

少子高齢化が進む中で、子ども、高齢者、障がい者までそれぞれのライフステージにおいて、すべての町民が日常的にスポーツ活動や健康づくりに取り組み、いつでも、どこでもより多くの人々が生涯を通じてスポーツを楽しむ地域コミュニティづくりのため、スポーツの振興・普及が強く求められています。

町民の自主的、主体的な活動を促進させるため、ライフスタイルとライフステージに応じてスポーツプログラムを提供するとともに、参加しやすい機会と場を設定することが重要であり、さらに、地域社会における世代を超えた関係づくりや仲間づくりを進めるため、町民の生涯スポーツ活動の積極的な支援・拡充を図る必要があります。

また、令和2年(2020年)から続く新型コロナウイルス感染症により、所管事業の実施が中止となり、未だ収束を迎えない今日、ウィズコロナの中で非対面・非接触を踏まえた事業実施が求められています。

町民アンケートの結果から、重要度は約36%、どちらともいえないを含めると約74%であるのに対し、満足度は約7.8%、普通を含めると約74%であることから、満足度を向上させる必要があります。

### 施策展開

健康な身体をつくるために、スポーツをする人が増えるための事業と施設を利用しやすい環境整備を推進します。

- ①スポーツ施設の充実
- ②スポーツ団体・指導者の育成と地域スポーツ体制の充実
- ③スポーツ交流事業の推進
- ④生涯スポーツ分野におけるデジタル及びDX(公共施設予約システム)の推進
- ⑤「包括的協働・連携協力に関する協定」に基づく地域コミュニティの確立



## 主要事業

- ひのでスポーツフェスティバル
- 「包括的協働・連携協力に関する協定」に基づくスポーツイベント
- 教育委員会主催各種スポーツ事業
- 町内スポーツ施設適正管理
- 特定非営利活動法人日の出町スポーツ協会支援
- 日の出町総合型地域スポーツ・文化クラブ支援
- 日の出町スポーツ推進委員事業協力

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
体育施設グランド利用者数	41,005人	45,000人
体育施設サッカー場利用者数	1,471人	3,000人
体育施設テニスコート利用者数	23,814人	25,000人
学校施設利用者数	19,469人	30,000人
「スポーツ振興」町民満足度	7.8%	15.0%

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 計画見直し時の住民参画
- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育推進計画
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策
- 日の出町スポーツ大綱

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに  
11. 住み続けられるまちづくりを



## 4-4 地域の伝統文化・遺産の保護・継承・活用【施策20】

### 目標とする姿

多様な歴史・文化を大切にする機運が高まっています。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

森林面積が70%に及ぶ本町には、緑豊かな自然環境をベースに縄文時代以来の歴史文化に育まれた多様な文化遺産が残されています。その中で特に重要なものとして、国2件、東京都5件、町22件の合計29件を指定文化財として保護しています。

近年の社会情勢の変化、また、令和2年(2020年)から続く新型コロナウイルス感染症などにより伝統的な行事の中止や地域遺産の消滅が危惧される一方で、歴史文化を活かしたまちづくりに対する関心も高まっており、多様な文化財を保護継承していくことが課題となっています。

文化財の保存と継承やその活用は、伝統的な行事や地域の歴史に対する関心を深め、郷土愛を育むものであり、様々な手法が求められています。

今後、町に所在する多様な文化遺産の記録と、その活用と公開を進めることが課題となっています。

町民アンケートの結果から、重要度は約32%、どちらともいえないを含めると約75%であるのに対し、満足度は5.9%、普通を含めると82%であることから、満足度を向上させる必要があります。

### 施策展開

一度失うと戻らない大切な資源です。大切に保存・継承していきます。

- ①文化財の保護・継承方針の確立
- ②文化遺産の保護・保存の推進
- ③郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進

## 主要事業

- 日の出町郷土芸能保存会支援
- 町民登録文化財制度事業
- 日の出町等指定文化財公開
- 小さな蔵の資料館のあり方の検討
- 町内埋蔵文化財保護調査

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
日の出町 町民登録文化財	62件	70件
「伝統文化」町民満足度	5.9%	10.0%

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 計画見直し時の住民参画
- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育推進計画
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに  
11. 住み続けられるまちづくりを



## 4-5 青少年の健全育成【施策21】

### 目標とする姿

青少年の誰もが、心身ともに健やかに成長する町になっています。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

青少年が心身ともに健やかに成長することは、すべての大人の願いです。

しかし、今日の青少年を取り巻く状況は、核家族化・少子化や都市化に伴う地域コミュニティの希薄化、社会的模範意識の低下、自然や広場の減少など、大きく変化しています。

また、非行の低年齢化、薬物の乱用、深夜徘徊や窃盗の増加、不登校やいじめなどの問題のほか、青少年が被害者となる児童虐待、携帯電話やインターネットを使った出会い系サイト、有害情報の氾濫などが、大人社会のあり方とともに深刻な社会問題となっています。

本町では、これまで「体験型」の活動を中心に青少年事業を推進してきましたが、今後一層、家庭・学校・関係団体・地域の連携のもと、青少年の健全育成活動の充実を図っていく必要があります。

また、令和2年(2020年)から続く新型コロナウイルス感染症により、所管事業の実施が中止となり、未だ収束を迎えない今日、ウィズコロナの中で非対面・非接触を踏まえた事業実施が求められています。

町民アンケートの結果から、重要度は約42%、どちらともいえないを含めると約72%であるのに対し、満足度は8.3%、普通を含めると約82%であることから、満足度を向上させる必要があります。

### 施策展開

働く親が増え、親子の関係が変化しつつある中、地域や関係者とともに、子どもを見守り、間違った道にそれないように対策を講じていきます。

- ①青少年問題協議会の推進
- ②青少年委員事業「オアシス運動」の推進
- ③親子で体験できる事業の継続
- ④青少年健全育成会事業の強化

## 主要事業

- 青少年健全育成会親子ふれあい事業（親子）
- 放課後子ども教室事業
- 青少年委員自然体験学習事業（子ども）

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
青少年健全育成会事業参加者数	0人	700人
青少年委員事業参加者数	7人	80人
「青少年の健全育成」町民満足度	8.3%	15.0%

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 計画見直し時の住民参画
- 日の出町教育大綱
- 日の出町教育委員会教育目標
- 日の出町教育推進計画
- 日の出町教育委員会の基本方針及び主要施策

## SDGsの視点

4. 質の高い教育をみんなに  
11. 住み続けられるまちづくりを



## 4-6 地域間交流の推進【施策22】

### 目標とする姿

様々な人々や地域との交流が図られ、多様な価値観に触れられます。

### 現状と課題、将来起こりうる課題

町は、西多摩地域広域行政圏協議会（西多摩地域8市町村）に参画し、西多摩地域が連携・協調して一体的な発展を図るため、広域的連携事業を実施しています。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となり地域の交流機会が減少しておりますが、今後も感染症対策を行ない、西多摩の魅力を一体的に発信することを目的とした「西多摩フェア」の開催や、文化・スポーツ事業など、多くの町民が広域的な地域間交流を行える機会を継続していく必要があります。

また、地域の共通の課題である人口減少・少子高齢化が進む中においては、子どもから高齢者までが利用できる公共施設の共同利用、地域の自然や歴史・文化などの特徴を生かした魅力発信により、地域内外の交流の機会を形成していくことも大切です。

地域間交流は、多様な価値観を知ることによって、多様性を理解し、相互扶助の精神を養うことにもつながります。また、大規模災害など、いざという時の協力関係を構築することにもつながります。

国籍を問わず、男女を問わず、様々な多様な価値観を共有するために、まちづくりや、健康、産業、観光、環境、教育など様々な分野において地域間交流を今後も継続していく必要があります。

### 施策展開

広域的な地域間交流をすすめ、町を知ってもらう機会の拡充を図るとともに、多様性を共有することを目的に事業を推進します。また、民間との連携、協力事業積極的に推進します。

- ①地域間交流事業の推進
- ②協働・連携事業の推進
- ③新島村との友好町村盟約の推進

## 主要事業

- 西多摩地域広域行政圏事業
- 秋川流域連携事業
- 協働・連携事業
- 官民・官学連携の推進

## 主な視点（成果指標）

指標名	現状値	令和7年度目標値
協定に基づく学校との連携・協力事業数	9（コロナ前）	15
協定に基づく民間企業との連携事業数	0	10

## 協働の視点（または関連個別計画）

- 西多摩地域広域行政圏計画
- 包括的協働・連携協力に関する協定
- 計画策定・見直し時の町民アンケート、公募委員による参画

## SDGsの視点

- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 11. 住み続けられるまちづくりを

